

「豊かに伝え合う力を高める国語教育の充実 ～全職員で取り組む発問・切り返しの工夫～」

春日部市教育委員会・春日部市立備後小学校

備後小では、以下の3点を掲げ、備後小方式の国語教育を展開してきた。

- (1) 自分の力で言葉を構成する力を身につける授業<論理的思考力の育成>
- (2) 驚きや発見に導きつつねらいを達成する授業<学びに向かう力の育成>
- (3) 伝え合うことがうれしくて、自信が持てる授業<自信と誇りの醸成>

備後小方式の国語教室（授業の基本）

あいさつ	<p>1. あいさつ</p> <p>T:「始めます。」 C: 起立</p> <p>黙礼（教師の目を見て） C:「お願いします」・着席</p> <p>★ひびきタイム (読むことの言語活動の帯単元)</p>	<p>目と目、心と心に合わせて黙礼 さっと立ち、気を付け さっと座る</p> <p>言語の響き・リズムを味わい、 言語感覚を豊かにする。</p>	<p>学習の準備 教科書・ノート・鉛筆・消しゴム 赤鉛筆・青鉛筆・下敷き・定規</p> <p>板書の仕方 四月十日（火） （教材名） ふり 〇〇〇〇〇〇〇〇 〇〇〇〇〇〇〇〇 〇〇〇〇〇〇〇〇 〇〇〇〇〇〇〇〇 〇〇〇〇〇〇〇〇 〇〇〇〇〇〇〇〇</p> <p>赤チョークで書く。 ノートは青で書く。 黄チョーク児童の 日にち、曜日を書く。</p>
導入	<p>2. 課題をつかむ・見通しをもつ</p> <p>〇めあての確認 〇本時の学習の流れ(今日の学習メニュー)の確認</p>	<p>主体的な学びにつながる</p>	
展開	<p>3. 一人で学ぶ</p> <p>〇一人一人に表現の場を設定</p> <p>4. 発表し合う・話し合う(全体・ペア・グループ)</p> <p>交流の方法や必然性のある場を工夫し、教師が児童の言葉を価値付け、児童自身が自分の考えを深めたり広げたりする事ができるようにする。</p>	<p>論理的思考力の育成</p> <p>伝えることがうれしくて、 自信がもてる場の設定</p>	
展開	<p>〇人との絆・自分への自信 〇ペア・グループ学習の仕方 〇根拠を発表 「私はこう考えました。そのわけは～だからです。」 〇話し合い</p> <p>(1)何のために話し合うのか。(目的を知る) (2)何について話し合うのか。(課題を知る) (3)どんな方法で話し合うのか(話し合いの進め方を知る) (4)話し合ったことをどうするのか。(話し合いの価値を知る)</p>	<p>豊かに伝え合う力を高めるために</p> <p>(1) 自分の力で言葉を構成する力を身につける授業<論理的思考力の育成> (2) 驚きや発見に導きつつねらいを達成する授業<学びに向かう力の育成> (3) 伝え合うことがうれしくて、自信が持てる授業<自信と誇りの醸成></p>	
展開	<p>聞き方あいうえお あ 相手を見て い いっしょうけんめい う うなずきながら え 笑顔で お おしまいで</p> <p>話し方あいうえお あ 相手を見て い いつも分かりやすく う 後ろの人にも届く声で え 笑顔でよつきり お 落ち着いて</p> <p>〇伝え合う力を高める。 ☆多様な考えを持つ人と関わり、論理的に表現する力 ☆考えを磨き合い、共に良い考えを創り出していく力</p>	<p>全職員で取り組む共通実践</p> <p>〇初発の感想を生かして表現に即して読む。 〇モデルを提示する。 〇主体的な学びを深める手びきを準備する。 〇話型を使っていきいきと表現できるようにする。 〇発問と切り返しの工夫をする。</p>	
展開	<p>【評価】教師の位置と指導・支援</p> <p>☆全員が完了したか見届ける。(全体の把握) 活動が始まったか、活動しているか、活動が終わったか ☆学習者としての一人一人を見届ける。(個の理解) ☆活動が始まったら、新たな指示や説明は行わない。 (じっくり考える時間の確保)</p>	<p>基本話型</p> <p>〇～と同じ(似ている)意見です。 〇～と反対(違う)意見です。 〇～と違う意見です。 〇～に質問します。 〇～をまとめます。 〇～につけたいします。</p>	
終末	<p>5. まとめる</p> <p>〇本時で学んだことを押さえる。</p> <p>6. 振り返る</p> <p>〇めあてを達成できたか。 〇何ができるようになったか。どんな力が身に付いたか。 〇個から全体へ・全体から個へ・生かす</p>	<p>声のものさし</p> <p>0の声 口を結ぶ 1の声 耳のそばでささやく 2の声 2人で話す 3の声 グループで話す 4の声 教室のみんなに話す 5の声 外で元気に遊ぶ時の声</p>	
あいさつ	<p>7. あいさつ</p> <p>T:「終わります。」 C: 起立</p> <p>黙礼（教師の目を見て） C:「ありがとうございました」・着席</p>	<p>学び合った喜びを味わわせる黙礼 さっと立ち、気を付け さっと座る</p>	

授業実践例 5年 筆者の考えをとらえ、自分の考えを紹介しよう ～生き物コラム～
「見立てる」「生き物は円柱形」

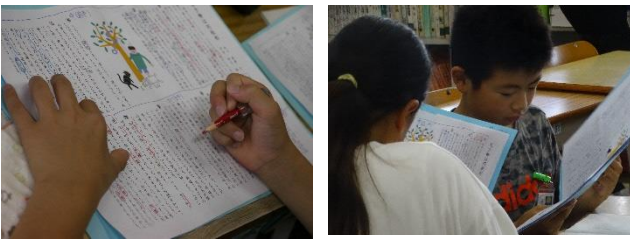
○前時の学習を想起し、本時の学習課題つかむ。



「円柱形には、本当にいいことがあるのだろうか」

主体的な学びにつながる課題

○問いに対する答えとなりそうな所に、サイドラインを引く。



「円柱形に理由があるに違いないと言っているけれど、本当にそうかな。そうだと思う部分に、サイドラインを引いてみよう。」

主体的な学びにつながる課題

考えをペアで共有、全体で確認

○筆者の事例を検証する。



本当に早くて強いのか実験してみよう。

○全体で検証してわかったことと本文の事実・説明の部分比べ、確認する。



事象と言葉をつなぐ

○問いに対する答えを自分の言葉でまとめる。



○筆者の考えや論の進め方の工夫について考える。



「普通に説明しているようだが、問い、答え、まとめを出して、納得をさせようとしている。」
「わかりやすいように、問い、答えを書いていることがわかった。」

本時で学んだことを振り返る

児童の考えを揺さぶる課題設定、驚きと発見を導く発問と切り返し、これらにより、児童は、「学んでよかった」「こんなことがわかった」という実感を伴う学びになる。